

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験

【 専門科目・選択問題 】
問題冊子

試験開始まで次の注意事項を熟読すること。

1. 試験開始の指示があるまで問題冊子は開かないこと。
2. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は問題の指示に従い解答用紙の所定欄に黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入すること。
【重要】問題の指示に沿った方法で解答用紙に解答を記入すること。
4. 次の解答用紙の所定欄に受験番号・氏名を必ず記入すること。
①「選択問題」の解答用紙（1 枚）
解答用紙の所定欄に受験番号・氏名の記入がない場合は採点対象としない。
5. 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

■ 選択問題

6. 各研究領域の選択問題のページ番号は、試験再開後に p.1 の目次を参照すること。出願した研究領域以外の問題を解答した場合も採点対象としない。
7. 出願した研究領域の選択問題の中から 1 題を選択し 解答すること。2 題以上解答した場合は採点対象としない。
8. 【重要】選択した問題で指定されている解答方法に従って解答すること。
9. 選択した問題の番号を、解答用紙の「選択した問題番号」欄に必ず記入すること。「選択した問題番号」欄に記入がない場合は採点対象としない。

【記入例】A-1 の問題を選択した場合

A - 1

■ 解答用紙の回収【重要】

10. いかなる場合でも以下の解答用紙を必ず提出すること。
①「共通問題」の解答用紙（1 枚）…試験開始から 45 分経過した時点で回収
②「選択問題」の解答用紙（1 枚）…共通問題の解答用紙回収後、配付し、
専門科目すべての試験が終了した時点で回収
11. すべての試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

以上

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制入学試験
【選択問題】問題冊子

目次

選択問題

研究領域	ページ番号
A 地域・地球環境科学	2～3
B 人間行動・環境科学	4～5
C 文化・社会環境科学	6
D 健康・生命医科学	7～9
E 健康福祉科学	10～12
F 臨床心理学	13
G 感性認知情報システム	14～15
H 教育コミュニケーション情報科学	16～17

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 A : 地域・地球環境科学 研究領域 】 1 / 2

問題 A-1～A-2 から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

A-1 【解答方法：様式自由。ただし裏面使用不可。解答用紙のドットおよび罫線は無視してもよい。】

以下の図は、気象庁が 1953 年から 2020 年まで実施していた生物季節観測^{*1}の公開データから全国 4 か所におけるソメイヨシノ（サクラ）の開花日^{*2}とウグイスの初鳴き日^{*3}の結果を整理したものである。図中の直線は年に対する観測値の回帰直線である。以下の各問に答えよ。

- *1 季節の遅れ進みや、気候の違い、変化など総合的な気象状況の推移を知ることを目的に、全国の気象官署で統一した基準により実施された生物の状態を観測する調査。
- *2 気象官署の構内にある 1 本の観測用標本木の花が数輪以上開いた日。
- *3 気象官署の構内または気象官署の付近においてその年に初めて鳴き声を聞いた日。

1. 各地におけるソメイヨシノの開花日とウグイスの初鳴き日の年次推移の傾向について、数行程度で説明せよ。
2. 図から読み取れる情報について、地球温暖化の影響、地球温暖化に対する各生物種の応答の違い、および各種観測データの特性等の観点から考察し、わかりやすく解説せよ。

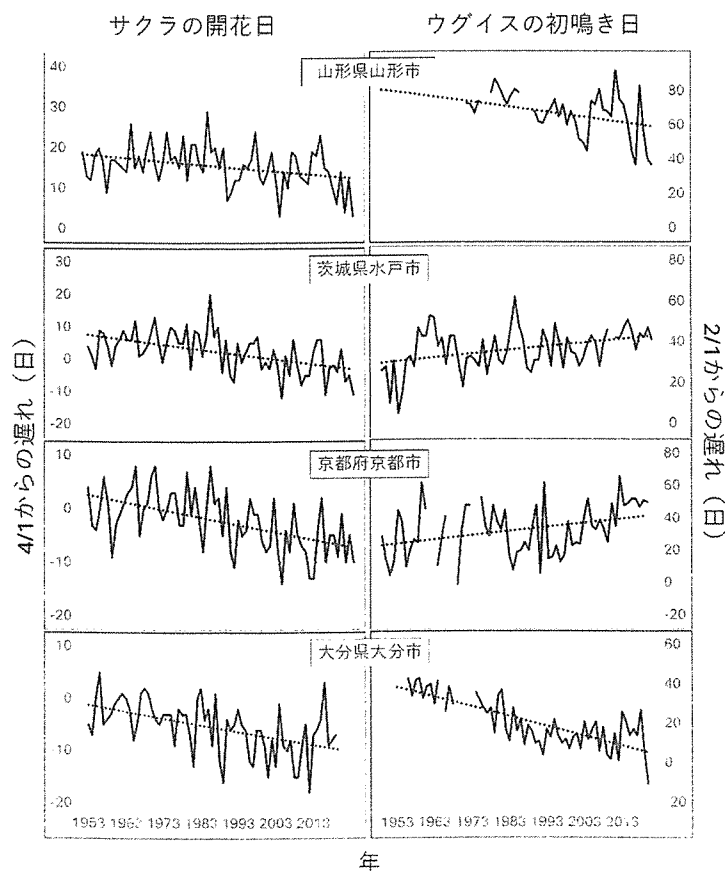


図 1953～2020 年の各地でのサクラの開花日（左軸）とウグイスの初鳴き日（右軸）。

※WEB 掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

出典：気象庁ホームページ (<https://www.data.jma.go.jp/sakura/>)

2 気象庁 生物季節観測の情報「★さくら開花」「うぐいす初鳴」

(<https://www.data.jma.go.jp/sakura/>) を加工して作成

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 A : 地域・地球環境科学 研究領域 】 2 / 2

問題 A-1～A-2 から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

A-2 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

以下にあげた用語から 2 つを選んで、社会学または経済学の立場からそれぞれ 400 字程度で説明しなさい。

- ① 文化資本
 - ② ジェントリフィケーション
 - ③ 人的資本理論とスクリーニング仮説
 - ④ 差額地代
 - ⑤ 二重労働市場
 - ⑥ 被害構造論
 - ⑦ 人口転換
 - ⑧ グローバル・ケア・チェーン
 - ⑨ 家族主義
 - ⑩ 重回帰分析とロジスティック回帰分析
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 B : 人間行動・環境科学 研究領域 】 1 / 2

問題 **B-1**～**B-3** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

B-1 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。図解についてはドットを無視しても良い。】

20 人の被験者にそれぞれゲーム A とゲーム B をプレーしてもらおう。ゲームに没入すればするほど、まばたき（瞬目）の頻度が少なくなるものとする。ここで、没入度の高い方のゲームを特定することを目的として、ビデオカメラを用いてプレー中の顔の映像を撮影する実験を行う。各ゲーム時間は 5 分間、人の瞬目にかかる時間は 0.1 秒とする。このとき、実験方法、分析方法、分析結果を利用して結論づける方法、を説明せよ。解答には以下の用語を 5 個以上用いること。文字数は、600 字以上 800 字以内とする。なお、図解してもよいものとする。

用語：

フレームレート、サンプリング周波数、解像度、照度、平均値、中央値、標準偏差、分散、正規分布、有意水準、検定、外れ値

B-2 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。図解についてはドットを無視しても良い。】

人間計測に関する下記の用語から、2 つを選択し、それぞれ分かりやすく説明しなさい。文字数は、2 語合わせて 600 字以上 800 字以内とする。なお、図解してもよいものとする。

- | | | |
|-------------|-----------|----------------|
| (1) 過渡応答 | (2) 系統誤差 | (3) 反転増幅回路 |
| (4) 標本化定理 | (5) 移動平均 | (6) 対応のある t 検定 |
| (7) 信頼性と妥当性 | (8) ハムノイズ | (9) カットオフ周波数 |
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 B : 人間行動・環境科学 研究領域 】 2 / 2

問題 **B-1**～**B-3** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

B-3 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

以下の問 1 および問 2 について全て解答しなさい。

(問 1) 以下の語から 3 つを選び、それぞれ 100 字以内で説明せよ。

- 1) 非認知能力
- 2) 囚人のジレンマ
- 3) コーピング
- 4) ラポール
- 5) 発達最近接領域
- 6) 身体性認知
- 7) 再現性の危機
- 8) フレーミング効果
- 9) レミニッセンス
- 10) IQ

(問 2) 以下の仮説から 1 つを選び、それを検証するような研究計画を解析手法（統計検定など）も含めて 600 字程度で説明せよ。図表などを含めてもよい（ただし、図表は字数に含めない）。

- 1) 夫が推し活をすると、夫婦関係がよくなる。
 - 2) 子どものときに外遊びした時間が長いと、思いやりのある大人になる。
 - 3) 人と一緒に踊ると、その相手を好きになる。
 - 4) 稲作をしている地域と小麦作をしている地域とでは、人の性格が異なる。
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 C : 文化・社会環境科学 研究領域 】 1 / 1

問題 **C-1**～**C-3** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

C-1 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

以下にあげた用語から 2 つを選んで、社会学または経済学の立場からそれぞれ 400 字程度で説明しなさい。

- ① 文化資本
 - ② ジェントリフィケーション
 - ③ 人的資本理論とスクリーニング仮説
 - ④ 差額地代
 - ⑤ 二重労働市場
 - ⑥ 被害構造論
 - ⑦ 人口転換
 - ⑧ グローバル・ケア・チェーン
 - ⑨ 家族主義
 - ⑩ 重回帰分析とロジスティック回帰分析
-

C-2 【解答方法：解答用紙の野線に沿って、横書きで解答すること。ドットは無視してもよい。】

「歌は世につれ世は歌につれ」というように、文化的事象は世相の有様を表象すると同時に、世相を変容させる契機ともなりえる。こうした文化的事象と社会との相互関係について、歴史上の事例や研究を挙げつつ論じなさい。

C-3 【解答方法：解答用紙の野線に沿って、横書きで解答すること。ドットは無視してもよい。】

信仰上ないしは習俗上の「禁忌」(taboo) について、具体的な研究例を挙げながら論じなさい。

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 D : 健康・生命医科学 研究領域 】 1 / 3

問題 **D-1**～**D-5** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

D-1 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

高齢者や障害者を対象とした災害発生時の避難支援対策について、その現状の課題と課題解決に向けた取り組みを 800 字以内で論ぜよ。なお解答の記述にあたっては、以下のキーワードから 5 つ以上を用いること。

個別避難計画
避難行動要支援者名簿
民生委員
避難情報
自主防災組織
個人情報保護
近隣住民
福祉サービス事業所
避難訓練
避難支援等関係者

D-2 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

平成 28 年 6 月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」に盛り込まれた「地域共生社会」について、800 字以内で論ぜよ。以下の 3 点を含めること。

- ① 「地域共生社会」の定義や考え方
 - ② 日本において「地域共生社会」が求められる背景
 - ③ 「地域共生社会」を実現する際の課題
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 D : 健康・生命医科学 研究領域 】 2 / 3

問題 **D-1**～**D-5** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

D-3 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

以下の問 1 および問 2 について全て解答しなさい。

(問 1) 以下の語から 3 つを選び、それぞれ 100 字以内で説明せよ。

- 1) 非認知能力
- 2) 囚人のジレンマ
- 3) コーピング
- 4) ラポール
- 5) 発達最近接領域
- 6) 身体性認知
- 7) 再現性の危機
- 8) フレーミング効果
- 9) レミニッセンス
- 10) IQ

(問 2) 以下の仮説から 1 つを選び、それを検証するような研究計画を解析手法（統計検定など）も含めて 600 字程度で説明せよ。図表などを含めてもよい（ただし、図表は字数に含めない）。

- 1) 夫が推し活をすると、夫婦関係がよくなる。
 - 2) 子どものときに外遊びした時間が長いと、思いやりのある大人になる。
 - 3) 人と一緒に踊ると、その相手を好きになる。
 - 4) 稲作をしている地域と小麦作をしている地域とでは、人の性格が異なる。
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 D : 健康・生命医科学 研究領域 】 3 / 3

問題 **D-1**～**D-5** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

D-4 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

以下の問 1 および問 2 について全て回答しなさい。

＜問 1＞ 以下の語から 2 つを選んでそれぞれ 200 字以内で説明せよ。

- 1) 神経伝達物質とホルモン
- 2) 神経細胞の興奮と抑制
- 3) 下垂体前葉と後葉
- 4) 記憶と想起
- 5) 認知と情動
- 6) 加齢と老化

＜問 2＞ 以下の仮説から一つ選んで、それを検証するような研究計画を、統計学的な解析手法も含めて 600 字程度で説明せよ。図表などを含めても良い（図表や図表の説明文は字数に含めない）。

- 1) 自分の母親への愛着反応は、乳幼児期と成人期では異なる。
- 2) 短期記憶から長期記憶への移行は 48 時間以内に行われる。
- 3) 情動は性ホルモンによって変化する。
- 4) 胎児に音楽を聴かせると良い教育になる。

D-5 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

次のキーワードの中から 2 つを選び、それぞれに関して知っている知見と、それが病気の治療にどのように応用可能かを 400 字以内で説明せよ。

- (1) ゲノム編集
- (2) オートファジー
- (3) iPS 細胞
- (4) RNA ワクチン
- (5) 細胞周期
- (6) テロメア
- (7) 概日周期
- (8) 免疫チェックポイント

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 E : 健康福祉科学 研究領域 】 1 / 3

問題 **E-1**～**E-6** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

E-1 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

高齢者や障害者を対象とした災害発生時の避難支援対策について、その現状の課題と課題解決に向けた取り組みを 800 字以内で論ぜよ。なお解答の記述にあたっては、以下のキーワードから 5 つ以上を用いること。

個別避難計画
避難行動要支援者名簿
民生委員
避難情報
自主防災組織
個人情報保護
近隣住民
福祉サービス事業所
避難訓練
避難支援等関係者

E-2 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

平成 28 年 6 月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」に盛り込まれた「地域共生社会」について、800 字以内で論ぜよ。以下の 3 点を含めること。

- ① 「地域共生社会」の定義や考え方
 - ② 日本において「地域共生社会」が求められる背景
 - ③ 「地域共生社会」を実現する際の課題
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 E : 健康福祉科学 研究領域 】 2/ 3

問題 **E-1**～**E-6** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

E-3 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。図解についてはドットを無視しても良い。】

20 人の被験者にそれぞれゲーム A とゲーム B をプレーしてもらおう。ゲームに没入すればするほど、まばたき（瞬目）の頻度が少なくなるものとする。ここで、没入度の高い方のゲームを特定することを目的として、ビデオカメラを用いてプレー中の顔の映像を撮影する実験を行う。各ゲーム時間は 5 分間、人の瞬目にかかる時間は 0.1 秒とする。このとき、実験方法、分析方法、分析結果を利用して結論づける方法、を説明せよ。解答には以下の用語を 5 個以上用いること。文字数は、600 字以上 800 字以内とする。なお、図解してもよいものとする。

用語：

フレームレート、サンプリング周波数、解像度、照度、平均値、中央値、標準偏差、分散、正規分布、有意水準、検定、外れ値

E-4 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。図解についてはドットを無視しても良い。】

人間計測に関する下記の用語から、2 つを選択し、それぞれ分かりやすく説明しなさい。文字数は、2 語合わせて 600 字以上 800 字以内とする。なお、図解してもよいものとする。

- | | | |
|-------------|-----------|----------------|
| (1) 過渡応答 | (2) 系統誤差 | (3) 反転増幅回路 |
| (4) 標本化定理 | (5) 移動平均 | (6) 対応のある t 検定 |
| (7) 信頼性と妥当性 | (8) ハムノイズ | (9) カットオフ周波数 |
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 E : 健康福祉科学 研究領域 】 3 / 3

問題 **E-1**～**E-6** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

E-5 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

以下の問 1 および問 2 について全て回答しなさい。

＜問 1＞ 以下の語から 2 つを選んでそれぞれ 200 字以内で説明せよ。

- 1) 神経伝達物質とホルモン
- 2) 神経細胞の興奮と抑制
- 3) 下垂体前葉と後葉
- 4) 記憶と想起
- 5) 認知と情動
- 6) 加齢と老化

＜問 2＞ 以下の仮説から一つを選んで、それを検証するような研究計画を、統計学的な解析手法も含めて 600 字程度で説明せよ。図表などを含めても良い（図表や図表の説明文は字数に含めない）。

- 1) 自分の母親への愛着反応は、乳幼児期と成人期では異なる。
- 2) 短期記憶から長期記憶への移行は 48 時間以内に行われる。
- 3) 情動は性ホルモンによって変化する。
- 4) 胎児に音楽を聴かせると良い教育になる。

E-6 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

次のキーワードの中から 2 つを選び、それぞれに関して知っている知見と、それが病気の治療にどのように応用可能かを 400 字以内で説明せよ。

- (1) ゲノム編集
- (2) オートファジー
- (3) iPS 細胞
- (4) RNA ワクチン
- (5) 細胞周期
- (6) テロメア
- (7) 概日周期
- (8) 免疫チェックポイント

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 F : 臨床心理学 研究領域 】 1 / 1

問題 **F-1** を解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

F-1 【解答方法：解答用紙の罫線に沿って、横書きで解答すること。ドットは無視してもよい。】

以下の問 1 および問 2 について全てに解答しなさい。

＜問 1＞

認知行動療法（CBT）の研究デザインに関する設問に解答しなさい。

以下の 3 つの研究デザインについて、それぞれの研究デザインにおける具体的な研究方法をうつ病患者を対象とした CBT の介入研究を想定して説明しなさい。

1. 無作為化比較試験
2. コホート研究
3. ケーススタディ

＜問 2＞

以下の症例を読んで、設問に解答しなさい。

【症例】

クライアントは 30 代前半の女性。夫（30 代後半）、息子（9 歳）とクライアントの 3 人家族。X-3 年、息子を病院に連れて行った帰りの電車で突然呼吸が苦しくなる発作を起こして、倒れる寸前になった。必死に耐えて家まで帰り、近所の内科の病院に飛び込んだ。どうしてその発作が起こったのか、きっかけは分からない。病院帰りで疲弊していたからかもしれない。その数日後、必要に迫られて電車に乗ったが、息苦しくなり、異常に汗をかいて動悸がおさまらず、このまま死ぬのではないかという恐怖を味わい、電車に乗るのが怖くなった。それ以降乗り物に乗る際の自分の身体の状態を過度に気にするようになり、X-2 年頃には電車だけではなくバスにも乗れなくなった。現在は自家用車とタクシーは夫と一緒にあれば乗れるが、公共交通機関は不安が強く乗っていない。これまで実際に発作で倒れたことはないが、倒れたらどうしよう、助けが得られなかったらどうしようと考えてしまう。日常生活に支障が大きいので、何とか自由に外出できるようになりたい。X-1 年から心療内科に通院し、服薬治療を続けているがなかなか症状が改善せず、医師から服薬治療に加えてカウンセリングを受けることを勧められた。

設問 本事例に対する認知行動療法的な介入として、どのような方法が考えられるか。本事例の機能的アセスメントを踏まえて、支援計画を立てなさい。その際、認知行動療法の治療関係を示す“協同（協働）的実証主義”についても触れながら説明しなさい。

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 G : 感性認知情報システム 研究領域 】 1 / 2

問題 **G-1**～**G-3** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

G-1 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。図解についてはドットを無視しても良い。】

20 人の被験者にそれぞれゲーム A とゲーム B をプレーしてもらおう。ゲームに没入すればするほど、まばたき（瞬目）の頻度が少なくなるものとする。ここで、没入度の高い方のゲームを特定することを目的として、ビデオカメラを用いてプレー中の顔の映像を撮影する実験を行う。各ゲーム時間は 5 分間、人の瞬目にかかる時間は 0.1 秒とする。このとき、実験方法、分析方法、分析結果を利用して結論づける方法、を説明せよ。解答には以下の用語を 5 個以上用いること。文字数は、600 字以上 800 字以内とする。なお、図解してもよいものとする。

用語：

フレームレート、サンプリング周波数、解像度、照度、平均値、中央値、標準偏差、分散、正規分布、有意水準、検定、外れ値

G-2 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。図解についてはドットを無視しても良い。】

人間計測に関する下記の用語から、2 つを選択し、それぞれ分かりやすく説明しなさい。文字数は、2 語合わせて 600 字以上 800 字以内とする。なお、図解してもよいものとする。

- | | | |
|-------------|-----------|----------------|
| (1) 過渡応答 | (2) 系統誤差 | (3) 反転増幅回路 |
| (4) 標本化定理 | (5) 移動平均 | (6) 対応のある t 検定 |
| (7) 信頼性と妥当性 | (8) ハムノイズ | (9) カットオフ周波数 |
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 G : 感性認知情報システム 研究領域 】 2 / 2

問題 **G-1**～**G-3** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

G-3 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

以下の問 1 および問 2 について全て解答しなさい。

(問 1) 以下の語から 3 つを選び、それぞれ 100 字以内で説明せよ。

- 1) 非認知能力
- 2) 囚人のジレンマ
- 3) コーピング
- 4) ラポール
- 5) 発達の最近接領域
- 6) 身体性認知
- 7) 再現性の危機
- 8) フレーミング効果
- 9) レミニッセンス
- 10) IQ

(問 2) 以下の仮説から 1 つを選び、それを検証するような研究計画を解析手法（統計検定など）も含めて 600 字程度で説明せよ。図表などを含めてもよい（ただし、図表は字数に含めない）。

- 1) 夫が推し活をすると、夫婦関係がよくなる。
 - 2) 子どものときに外遊びした時間が長いと、思いやりのある大人になる。
 - 3) 人と一緒に踊ると、その相手を好きになる。
 - 4) 稲作をしている地域と小麦作をしている地域とでは、人の性格が異なる。
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

【 H : 教育コミュニケーション情報科学 研究領域 】 1 / 2

問題 **H-1**～**H-4** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、解答方法は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

H-1 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。図解についてはドットを無視しても良い。】

20 人の被験者にそれぞれゲーム A とゲーム B をプレーしてもらおう。ゲームに没入すればするほど、まばたき（瞬目）の頻度が少なくなるものとする。ここで、没入度の高い方のゲームを特定することを目的として、ビデオカメラを用いてプレー中の顔の映像を撮影する実験を行う。各ゲーム時間は 5 分間、人の瞬目にかかる時間は 0.1 秒とする。このとき、実験方法、分析方法、分析結果を利用して結論づける方法、を説明せよ。解答には以下の用語を 5 個以上用いること。文字数は、600 字以上 800 字以内とする。なお、図解してもよいものとする。

用語：

フレームレート、サンプリング周波数、解像度、照度、平均値、中央値、標準偏差、分散、正規分布、有意水準、検定、外れ値

H-2 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。図解についてはドットを無視しても良い。】

人間計測に関する下記の用語から、2 つを選択し、それぞれ分かりやすく説明しなさい。文字数は、2 語合わせて 600 字以上 800 字以内とする。なお、図解してもよいものとする。

- | | | |
|-------------|-----------|----------------|
| (1) 過渡応答 | (2) 系統誤差 | (3) 反転増幅回路 |
| (4) 標本化定理 | (5) 移動平均 | (6) 対応のある t 検定 |
| (7) 信頼性と妥当性 | (8) ハムノイズ | (9) カットオフ周波数 |
-

2025 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科
修士課程 2 年制 入学試験問題
【選択問題】

〔 H : 教育コミュニケーション情報科学 研究領域 〕 2 / 2

問題 **H-1**～**H-4** から 1 題を選択し、解答せよ。ただし、使用する解答用紙は問題番号横の記載の指示に必ず従うこと。

H-3 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

ある研究者は中学校の数学の授業においてデジタル教科書を使う効果を確認するために、A 中学校の 2 年生の数学の授業では全クラスでデジタル教科書を、B 中学校の 2 年生の数学の授業では全クラスで通常の紙の教科書のみを使って、4 月より 1 学期間授業を行ってもらった。その学期の授業で教えられた中学 2 年の数学の範囲は両校ともに同じであった。その学期の最終日に行われた期末テストでは、A 中学校の 2 年生の数学の点数が B 中学校の 2 年生の数学の点数よりも平均点で 6.7 点高かったことが判明し、その研究者は数学の授業でデジタル教科書を使うことの有効性が証明されたと判断した。1) この研究者の判断にはどのような問題点があると考えられるか、2) その問題点を解消するために自分ならどのようにこの研究を行うか、それぞれ 400 字以内で論じなさい。

H-4 【解答方法：解答用紙のドットを文字区切りの基準として使用し、横書きで解答すること。】

遠隔教育とは、遠隔システムを活用した同時双方向で行う教育のことである（文部科学省 2018）。学校基本調査によると、遠隔教育を実施していると回答した学校数（表 1）は、過去 5 年間に大きく推移したことがわかる。学校数の推移（表 2）と合わせて、次の問いに答えなさい。

- (1) 表 1 と表 2 を参照し、2019 年から 2023 年の間に起こったできごとや教育政策を踏まえ、データの推移から考察できることを 400 字程度で述べなさい。
- (2) 遠隔教育を効果的に実施するためには、どのような点に留意して授業をデザインしたらよいか 400 字程度で述べなさい。

表 1 遠隔教育を実施していると回答した学校の割合（％）

学校種	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
小学校	7.5	25.6	72.8	77.6	75.7
中学校	6.3	22.9	71.6	76.2	73.6
高等学校	7.9	34.6	64.2	64.7	59.3
特別支援学校	19.6	50.9	74.6	77.5	74.7

（文部科学省「学校基本調査」）

表 2 学校種ごとの学校数（義務教育学校、中等教育学校を除く）

学校種	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
小学校	19,179	18,977	18,797	18,610	18,432
中学校	9,285	9,209	9,143	9,072	9,001
高等学校	3,548	3,534	3,518	3,485	3,455
特別支援学校	1,084	1,086	1,095	1,107	1,114

（文部科学省「学校基本調査」）

※WEB 掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

採点欄

受験 番号					
氏名					

【専門科目・選択問題】 解答用紙

—

← 選択した問題番号を左の欄内に必ず記入せよ

05101520

100200300400500

解答欄

裏面の使用については選択した問題の指示に従うこと。なお、特に指示がない場合は裏面を使用してもよい。

(こちらは裏面です)

